

放射能の拡散ストップを求める4・22宮城県民集会 ふるさとの水・土・空気を核のゴミで汚すな！



「放射能汚染廃棄物焼却処分に反対する石巻地域の会」事務局長の日野さんは、石巻地域の活動と市に対する要請行動など報告しました。



4月22日14時半からの集会(元の県民会館会議室)には、県内の北から南から80人以上が参加しました。それぞれの地域で、焼却処分や埋め込みなどで、放射能汚染をさらに広げないように、懸命にとりこんでいる活動が報告されました。各自治体と県に対する要請など、ともに運動していくことを確認しました。集会後、にぎわう一番町をデモ行進して、焼却反対！汚染を拡散するな、とアピールしました。



大崎市鹿島台の鹿野さんは、市の説明会での大学教授のずさんな説明を聞き、焼却させてはならない、とますます決意を強くしたと話し、焼却処分にさせないため、ともに闘おうと力強くよびかけました。

集会の基調報告：「地方自治の力で無法を正す」私たちの運動について、中嶋信共同代表が基調報告しました。①放射能物質の管理処分の正しい姿勢：余計な被ばくは避けることが基本②村井知事が強引に進めようとした『いっせい焼却』を住民の運動や団体自治の力で抑止したこと③原則を逸脱した「焼却方針」は、自壊する、として、8000ベクレル以上の指定廃棄物は急がなくなったのに、8000ベクレル以下の迷惑なゴミを速やかに焼却する、と情緒的に政策誘導していることや、「ていねいな説明」と言いながら、異論を唱えたと押さえつけ、批判を受け付けられない、など、民主主義の否定があると宮城県が進めている放射能汚染廃棄物処分方法の誤りを指摘しました。

④主権者主導で行政の暴走を正すため、地方自治(住民自治+団体自治)の力を発揮することが求められる、と話しました。また、県内各地に結成された焼却反対の運動組織の中から、仙南・大崎・河南・石巻・黒川の活動が報告されました。3月20日から試験焼却を始めた仙南広域行政事務組合と村井知事に対して、**再開中止を求める決議を採択**しました。決議文では、①バグフィルターの99.99%除去の根拠が示されていないこと②空間線量0.23μシーベルト/hを越えないこと、が基準、という高濃度であること③空間線量0.3μシーベルト/hを越えても「試験焼却」を中止しないずさんな管理、などこうした状況下でのさらなる試験焼却を止めるように求めました。県内各地での運動を進める連帯を確認して、閉会しました。

女川原発再稼働 STOP! みんなで決めよう! 女川原発再稼働の「是・非」



■ 女川原発の再稼働については、 県民投票で県民意見を集約してから決めよ!

東北電力は、2018年度の後半には再稼働させたい、と準備をしていましたが、3月29日、「規制委員会の求める安全対策の諸工事に時間を要するため、審査で電力側が論点説明する時期を2ヶ月延期した」と発表しました。この後、さらに4月26日に、「防潮堤の地盤整備などの追加工事が必要となって、安全対策の工事全体は2020年度完了をめざす」と、原田社長が記者会見で明らかにしました。

■ 県民の6割以上が、再稼働には反対

河北新報社のアンケートでは、6割以上の県民が原発再稼働には反対どちらかという反対と応えています。原発事故から7年以上経っても、事故による悲惨な状態がもどることは程遠く、多くの方が代えがたい故郷に戻れずいます。こうした事実は、女川原発がある宮城県のすべての住民にとって、

他人ごとではありません。

原発再稼働は、規制委員会の全ての審査をクリアしてから、県知事や立地自治体に同意を求めてきますが、その時、知事がどうこたえるのかは、非常に重要です。

■ 県民の総意を知ってから、判断してほしい!

村井知事には、県民の意向を知ったうえで、判断してほしい。女川再稼働のYES or NOについて、「県民投票」を実施してほしい、という強い要望が広がっています。

この「県民投票」を実施するためには、その前に、県民投票条例を制定しなければなりません。この条例制定を求める直接請求署名の準備が始まっています。住民の意見を行政に活かすまともな民主主義をこの宮城でも進めてほしい、というとりくみです。そのために賛成の方も反対の方も、県民投票の実施を求めて、力を合わせましょう。具体的なとりくみ方を知る学習会や説明会が各地各団体グループで始まっています。ぜひ、ご参加ください。

東北電力は、またまた、女川原発工事完了時期の延長を発表 →もう、延長の繰り返しではなく、再稼働中止こそ決断すべきです。

NHK東北 NEWS WEB (4月26日 19時03分)より

女川原発工事完了は20年度目標、と社長会見

東北電力は、再稼働を目指している女川原子力発電所2号機の安全対策の工事について、「2020年度の完了を目指す」と正式に発表しました。従来の目標からは、1年から2年程度、遅れることになります。これは、26日、東北電力の原田宏哉社長が記者会見して明らかにしました。

それによりますと、女川原発2号機で現在進めている安全対策の工事について、防潮堤の地盤整備などが追加で必要となったことから、スケジュールを見直した結果、2020年度の完了を目指すことになったということです。

これまで東北電力は、工事の完了時期について、「今年度後半を目指す」としており、従来の目標からは1年から2年程度、遅れることになります。完了時期の遅れは、これで3回目です。

また、26日の会見では、青森県の東通原発についても具体的な時期は明確にしなかったものの、工事の完了が遅れる見通しを明らかにしました。安全対策の工事は、再稼働の前提となるため、これによって女川原発2号機、東通原発ともに、再稼働自体も遅れることになります。

原田社長は、「3回目の変更ということで、新たに設定した時期に向けて全力で取り組み、地域のみなさまのご理解をいただきながら、できるだけ早い再稼働を目指していきたい」と話していました。

原発・放射能・子ども・平和関連の企画など、各地・各団体のとりくみ 女川原発再稼働 STOP！放射能汚染ゴミ焼却反対！さらに強く大きな声をあげよう！

◆脱原発デモ・金曜デモなど

- * 旧古川地域：大崎 demo 金曜デモ・毎週金曜 17時半・あさひ中央公園集合後デモ
- * 塩釜地域：塩釜さん発デモ・金曜 17時半下馬駅裏宮城民医連事業協前集合後デモ出発（4日休み）
- * 岩沼市：「原発ゼロ戦争させない岩沼歩き隊」毎月第3金曜日 14時岩沼駅東口広場で集会後デモ
- * 仙台長町地域：第3水曜17時半～原発も戦争もNO！たいはくアクション：仙台長町・蛸薬師境内集会後デモ
- * 仙台中央部：脱原発みやぎ金曜デモ（女川原発再稼働するな！子供を守れ！汚染はいらない！みやぎ金曜デモ）
5月は、11日錦町公園・18日肴町公園・25日錦町公園 18時半～集会・19時デモ出発



- ◆5月3日(木)13時～5・3憲法を活かす宮城県民集会 記念講演「安全保障関連法の行方」半田滋さん(東京新聞論説兼編集委員) 於・仙台国際センター 主催：宮城憲法会議・憲法を守る市民委員会・宮城県護憲平和センター・みやぎ9条懇話会
- ◆5月11日(金)18時～『自衛隊』の現在～その実情と憲法9条を考える～ 於・仙台弁護士会館 主催・みやぎ弁護士9条の会 講演・田岡俊次氏(軍事ジャーナリスト・元朝日新聞記者など) 無料
- ◆5月13日(日)13時50分～上映会&トークイベント「自然エネルギーによる地域再生フォーラム おだやかな革命」渡辺智史監督登壇 主催・エネシフみやぎ・生活協同組合あいコープみやぎ(託児要予約) 予約1000円当日1200円(申込み0120-255-044) 6月15日からは、チネ・ラヴィータでも上映されます。
- ◆5月13日(日)13時10分～女性9条の会第39回憲法講座「日本列島に広がる安保法制の爪」&総会 於・宮城野区中央市民センター 講師：本田勝利さん(宮城県平和委員会常任理事) 参加費300円
- ◆5月14日(月)18時～学習会「みんなで決めよう！女川原発再稼働のYES or NO」県民投票の意味と実現への手立て 講師・多々良哲さん(あいコープみやぎ事業本部長) 於・塩釜市公民館 主催：原発ゼロをめざす塩釜地域連絡会
- ◆5月15日(火)25日(金)12時～13時「女の平和」街頭宣伝署名行動 於・一番町フォーラス前 5月5日は休み
- ◆5月15日(火)19時～宮城県保険医協会公害対策学習会「女川原発の再稼働の是非を問う県民投票の実現をめざして」 講師・多々良哲さん 於・宮城県保険医協会研修ルーム
- ◆5月20日(日)第一部13時～「新しい市民政治をつくる宮城県民の会」発足集会 第二部13時45分～市民政治フォーラム「原発ゼロ社会への道標」*原子力市民委員会の提案*県民投票についてなど 主催・新しい市民政治をつくる宮城県民の会 協賛・原子力市民委員会・焼却反対県民連絡会 於・仙台弁護士会館
- ◆5月22日(火)10時半～12時半 憲法学習会「あなたこそたからもの」講演・伊藤 真さん(伊藤塾塾長など) 於・フォレスト仙台2F 主催・みやぎ生協 申込・連絡先は、TEL022-218-3880 FAX022-218-3663 無料
- ◆5月26日(土)13時半～「電力小売り自由化の現状と私たちの暮らし」講師：浦井彰さん(エネシフみやぎ代表) 於・県労連会館2F 主催：婦人民主クラブ宮城県支部協議会 参加費：無料
- ◆6月2日(土) 8時半～16時ころ「再生可能エネルギーを考えるー福島原発事故から7年、丸森町筆甫の今ー」主催・婦人民主クラブ 連絡先FAX022-247-3020(奥山) 参加費3500円(バス代・保険料含む)
- ◆6月10日(日)13時～「安倍9条改憲NO! ストップ国会発議 6・10宮城県民大集会」於・仙台市勾当台公園市民広場 ゲストトーク：佐高 信氏(評論家) 主催・県民集会実行委員会
- ◆6月16日(土) 13時半～「東日本大震災7年のつどい(東日本大震災復旧・復興支援宮城県民センター総会&講演)」 講演：塩崎賢明さん(神戸大学名誉教授) 於・仙台弁護士会館
- ◆6月23日(土)14時～「福島原発事故から7年 被害の実相と原発訴訟の到達点」講演・馬奈木源太郎弁護士 15時半～原発問題住民運動連絡センター2018年度総会 於・仙台市青葉区中央市民センター第2会議室